

運 営 推 進 会 議 報 告 書

開催日時 令和6年9月27日(金) 10:00~10:30	
参加者	議 題
利用者 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・ デイサービス事業報告 ・ 非常時災害や緊急時の対策 ・ 職場体験受け入れについて ・ 個別機能訓練の取り組み ・ ヒヤリハット報告
学職経験者 1名	
市職員 1名	
地域包括支援センター 1名	
事業所 1名	
会議録	
<p>1. 運営状況報告</p> <p>登録者数：令和6年9月時点の利用者数・介護度別</p> <p>利用者合計：121名</p> <p>介護度：介護1（38名）、介護2（14名）、介護3（1名）、介護4（3名）、介護5（0名）</p> <p>支援1（20名）、支援2（23名）、事業対象者（22名）</p> <p>従業員数：管理者1名、生活相談員1名、看護師1名、理学療法士1名、介護士2名、ドライバー1名</p> <p>※理学療法士が常駐しており、身体機能のみならず日常生活における様々な問題に対してリハビリを行う事が可能となった。</p> <p>2. 非常時災害や緊急時の対策について</p> <p>年に2回、避難訓練を行っており、今年4月には地震を想定した避難訓練を実施。次回は10月に火災を想定した避難訓練を実施予定。</p> <p>3. 職場体験受け入れについて</p> <p>昨年も受け入れを行いました。今年も11月に品野中学校2年生の職場体験の受け入れを行い、介護・理学療法士・ケアマネ業務について学んでいただく予定です。</p> <p>ご利用様が若い世代の方と交流を持って頂く事はもちろん、中学生の方にも利用者様と交流を持って頂き、介護の仕事を学んでもらうことを目的としている。</p>	

4. 個別機能訓練の取り組みについて

個別機能訓練の実施について取り組みと、利用者様の状況を説明。

5. ヒヤリハット報告

起きた後の事故へつながらないための防止策

<p>デイサービス内 フロア内にて</p> <p>運動が終了し、席に移動される際に杖のつき方が斜めになっており、ふらつき転倒されそうになる。平行棒横を歩いていたため、ふらついた際に平行棒を支えにしたため転倒には至らなかった。</p>	<p>対応策</p> <p>杖の高さが高かった為、斜めについてしまいふらつかれることがあった。杖の高さを理学療法士が調整を行う。その他の利用者様も杖が適正かを確認し調整させて頂く。</p>
<p>送迎時</p> <p>送迎車に乗り込む際に、あしが上がらずにそのまま座面に倒れ込んでしまう。足の足台に乗せるもバランスを崩された。</p>	<p>対応策</p> <p>固形物摂取をしてはいけない利用者様の傍でスタッフが見守りを行い、両側の利用者様がおやつを渡してしまわれることがあった場合にはすぐに駆け寄り声掛けを行う事が出来るようにする。</p>
<p>歩行訓練時</p> <p>平行棒での歩行訓練時にバランスパッドの端を踏んでしまい、バランスパッドの反対の端が浮いてしまい、そのままマットを跨ぐ形になりバランスを崩されてしまう事があった。</p>	<p>対応策</p> <p>短いマットは浮いてしまう為、長いマットのみで対応を行う。また、マット上に足をしっかり乗せて頂けるように声掛けを行い、歩行訓練されている利用者様にすぐに駆け寄る事が出来るように見守りを行う。</p>

ご意見・ご質問

(瀬戸市役所 健康福祉部 高齢者福祉課)

・従業員の人数は 1 日の出勤人数ですか？登録者の人数ですか？相談員が体調不良で休みなった場合はどうしていますか？個別機能訓練士の人数は何人ですか？18 人定員だとスタッフが足りないですが、どうしていますか？
→基本品野に出勤しているスタッフの人数を提示しています。介護職員と提示した中に生活相談員と介護を兼務しています。また、個別機能訓練士として笑笑音の管理者は理学療法士の資格を保有している為、兼務しています。スタッフの休みの際など欠員が出る際は、他店舗で品野店に登録しているスタッフを補充しています。

(地域包括支援センターしなの)

・生活機能向上グループ活動加算を算定するにあたり、どのような事を行っていますか？
→加算を算定させて頂く利用者様の IADL の聞き取りにより生活状況を把握し、理学療法士が計画書を作成させて頂いています。今できている機能は維持し、出来ない家事動作を行っていただけるように支援させて頂いています。・

(利用者 M 様)

・病院受診をし、「腎臓が悪く血圧も高い為自宅でゆっくり過ごしてください」と医師に言われたが、家でゆっくりすることがすごく苦痛になり、デイサービスを勧められ利用開始した。気持ちが明るくなり、杖を使用してだが安定し歩く事が出来るようになり本当に感謝している。今の状態を維持し、暗く無い明るい日々を暮らして生きていきたい。最近近所の人が笑笑音に入りたいと言っていたが定員がいっぱいで入れないと言われていた。自分は妻も一緒に利用ができ、転倒することもあったが転倒も減ったことが嬉しく思う。

→ありがとうございます。在宅生活を維持していくためにも定期的な運動に取り組んで頂く事は大切な事です。利用者様から、お褒めの言葉をいただけることが我々にとっては一番嬉しい事です。

ご協力ありがとうございました。